

第5回一関市水道事業経営審議会

日 時：令和6年10月18日（金）

午後3時30分～5時

場 所：一関保健センター会議室3

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議

(1) 前回審議会における意見交換のまとめ

(2) 答申案の協議

4 答申

5 閉会

資料1 第4回審議会における意見交換のまとめ

資料2 答申（案）

一関市水道事業経営審議会委員名簿

(敬称略/五十音順)

No.	氏名	ふりがな	備考
1	大矢 功喜	おおや こうき	[Redacted]
2	小野寺 健一	おのでら けんいち	
3	小野寺 敏彦	おのでら としひこ	
4	川崎 博雄	かわさき ひろお	
5	菊地 正子	きくち しょうこ	
6	熊谷 和子	くまがい かずこ	
7	佐藤 愛理	さとう あいり	
8	佐藤 誠	さとう まこと	
9	佐藤 みさ子	さとう みさこ	
10	佐藤 航	さとう わたる	
11	高橋 系子	たかはし けいこ	
12	千田 好記	ちだ よしき	
13	千葉 一郎	ちば いちろう	
14	千葉 理恵	ちば りえ	
15	二階堂 満	にかいどう みつる	
16	松岡 千賀子	まつおか ちかこ	

第4回審議会における意見交換のまとめ【R6.9.27開催】

- 【テーマ1】耐震改修について
- 【テーマ2】管路の整備について
- 【テーマ3】水道施設の統廃合について

▼主な意見

耐震改修について…

- ・ 限られた予算と時間の中ですべての水道施設を耐震化することは困難である
- ・ 災害等で断水があった場合は、速やかに給水してもらえればよい

管路の整備について…

- ・ 将来的に採算が取れない地域は整備しないという判断を下さないと公営企業そのものが持続できなくなってしまう
- ・ AI技術を活用して水道管路の老朽度を診断、将来の漏水事故率を予測する時代になると思う

水道施設の統廃合について…

- ・ どの施設でどれだけの戸数を補っているのか把握したほうがよい
- ・ 管路や施設の更新については、いきなりやめるのではなく、地域の中で話し合いができるように、どのように統廃合を進めていくのか、将来的な見通しを示してほしい
- ・ 給水人口をカバーできるような施設が近接してあるのであれば、そのようなところから統廃合を進めていくべきではないか
- ・ 企業も人も一関市に分散しており、今住んでいるところに住み続けられるようにというまちづくりを進めていく中で、施設の統廃合という形を取っていくことは難しいと感じる

その他

- ・ 井戸を、野菜を洗ったり、トイレなどに使ったり、水源として活用できればいいのではないか
- ・ 蛇口をひねれば水が出る水道水のような仕組みだけではなく、資料にあるような既存の水道によらない多様な手段で水を供給できる仕組みを検討すべきだ

▼意見のまとめ

- ・ 公営企業としての事業の持続を図るため、数十年先の人口動態を見据えて、優先順位をつけながら管路の整備や水道施設の統廃合等を進めるべきではないか
- ・ 既存の水道によらない多様な手段で水を供給できる仕組みを検討すべきではないか

▼第4回審議会で回答ができなかった意見

① 布設替や漏水修繕の件数について、東日本大震災の時との比較の資料があればいい

→当時は各支所に水道課があり、公営企業水道事業のほかに市の特別会計で運営していた簡易水道事業があったため、現在と比較した集計ができない。

【参考】 東日本大震災の水道施設被害状況

導水管破損 1 か所、配水池倒壊 1 基、送配水管破損 281 か所など(簡易水道含む)

被害総額 3 億 8,054 万 9,000 円

※ ほかに給水管(配水管から分岐した宅内の配管/所有者負担)の破損がおよそ 2,200 か所で発生

<被害総額のうち水道施設災害復旧費(国庫補助事業)として計上した額>

配水池 2 億 3,940 万 2,000 円

配水管 1,002 万 9,000 円

送水施設 600 万 3,000 円

漏水調査 237 万 9,000 円 など

合計 2 億 5,978 万 2,000 円

<断水の期間及び戸数>

	断水～復旧	断水戸数
一関市	3/11～3/24 一関 ～3/23 千厩 ～3/21 東山 ～3/20 花泉・川崎 ～3/16 大東	32,400 戸
	4/ 7～4/13 一関 ～4/10 花泉・川崎 ～4/ 9 大東・千厩・室根 ～4/ 8 東山	22,616 戸

一関市上下水道部調べ

【参考】 能登半島地震の主な被災地

	断水～復旧	断水戸数
輪島市	1/1～5/31	約 11,400 戸
珠洲市	1/1～5/31	約 4,800 戸
能登町	1/1～5/ 2	約 6,200 戸
穴水町	1/1～3/ 4	約 3,200 戸

【出典】内閣府ホームページ

② 統廃合でうまくいっている事例があれば紹介してほしい

【事例：岩手中部水道企業団の広域統合とダウンサイジング】

施設の統廃合による余剰規模の縮小

	H23(a) 広域化事業計画策定時	H27(b) 水道ビジョン策定時	R3.3月末 時点	H37(c) 目標年次	増減 (c-a)
取水施設数	36	33	30	23	▲13
浄水施設数	34	30	22	19	▲15
配水施設数	86	84	78	76	▲10
ポンプ施設数	65	65	63	66	1
合計	221	212	193	186	▲35

浄水施設 ▲12 取得価額 27億7,482万円
ランニングコスト(50年分)= 13億3百万円

○平成27年度水道ビジョン以降の計画変更、施設合理化削減額

- 岩手中部浄水場拡張計画 16億円
- 小又浄水場方式見直し 10億円
- 危機管理センター建設費圧縮 16億円
- 小水力発電施設見直し 3億円
- 田瀬水源統合 6億円

【出典】総務省：経営・財務マネジメント強化事業
『水道事業の現状と基盤強化
及び経営指標等の経営分析（一関市分析）』より

(案)

令和 6 年 10 月 18 日

一関市長 佐藤善仁様

一関市水道事業経営審議会
会長 二階堂 満

水道事業の適正かつ円滑な経営について（答申）

令和 6 年 9 月 27 日付け公経第 06002 号で諮問のありました水道事業の適正かつ円滑な経営について、経営健全性の維持、住民サービスの安定的な提供のため、下記のとおり答申します。

記

1 水道事業の健全経営について（水道施設・管路の整備等）

- (1) 優先順位を付けた管路の整備を更に推進されたい。
- (2) 水道施設の統廃合、ダウンサイジングを更に推進されたい。
- (3) 水道によらない多様な水の確保を検討されたい。

2 付帯意見

令和6年10月18日

一関市長 佐藤善仁様

一関市水道事業経営審議会

会長 二階堂 満

水道事業の適正かつ円滑な経営について（答申）

令和6年9月27日付け公経第06002号で諮問のありました水道事業の適正かつ円滑な経営について、経営健全性の維持、住民サービスの安定的な提供のため、下記のとおり答申します。

記

1 水道事業の健全経営について（水道施設・管路の整備等）

- (1) 優先順位を付けた管路の整備を更に推進されたい。
- (2) 水道施設の統廃合、ダウンサイジングを更に推進されたい。
- (3) 水道によらない多様な水の確保を検討されたい。

2 付帯意見

- (1) 漏水箇所を早期に把握する手法について調査・研究を進められたい。
- (2) 水道事業の現状や安全安心な水の供給に関する情報発信に努められたい。